

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-106	中学校	保健体育	保健体育	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	保体703	最新 中学校保健体育		

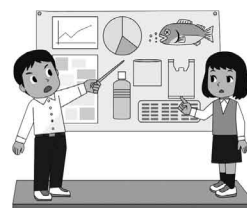
## 1 編修の基本方針

### 方針1 基礎的・基本的な知識と技能の確実な習得

- (1) 科学的な根拠に基づき正確に記述しています。
- (2) 記述の裏付けとなる豊富な資料を用意しました。
- (3) 実習資料は、写真やイラストを用いてわかりやすく解説しています。

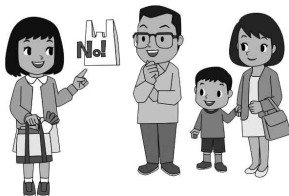
### 方針2 思考力・判断力・表現力の育成

- (1) 生活経験や学んだ知識をもとにして思考・判断する作業課題を随所に配置しています。
- (2) 知識や考えをまとめて発表する活動を数多く設定しました。



### 方針3 実践力の育成

- (1) 生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために必要な意思決定や行動選択をおこなう課題を用意しました。



### 方針4 主体的に学習に取り組む態度の育成

- (1) 学習の流れや系統性を示し、見通しをもって学習に臨めるようにしています。
- (2) 学んだことを生かして、新たな課題を発見する設問を用意しました。



### 方針5 教科を学ぶ意義の実感

- (1) 学習する内容と実生活との関連を実感できる資料を掲載しています。
- (2) 学校や地域における自分の役割と責任を理解し、社会の一員としての自覚を促す事例や資料を用意しました。



### 方針6 多様な考えや立場を尊重する態度の育成


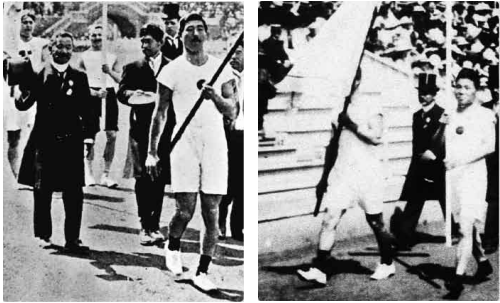

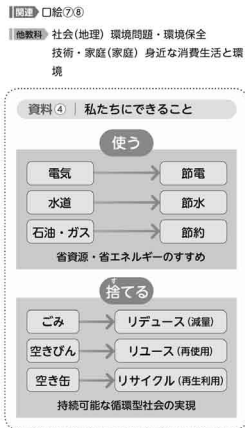
- (1) 自分の考えをまとめ、意見を出し合う課題を数多く設定しています。
- (2) 協力して課題を解決する場面を設定しています。
- (3) 事例などの読み物資料を充実させ、多様な考えや立場の違いに触れる機会を多くしています。

## 2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教科書全体	<p>●課題を発見し、その解決を目指した学習活動を促すため、「章とびら」と「課題をつかむ」を設けました。また、学習を深めたり、習得した知識を日常生活に生かしたりする学習活動「学習のまとめ」を設けました（第1号）。</p> <p>●「章のまとめ」では、「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」「学びに向かって」を設けて、資質・能力の育成に資するようにしました。また、「特集資料」を設け、幅広い知識と教養が身に付くように配慮しました（第1号）。</p> 	教科書全体
口絵	<p>●「オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！」では、東京2020大会が開催されることを取り上げ、日本人選手の活躍や大会に関わる人々の紹介を通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました（第5号）。</p> <p>●「私たちの成長と運動やスポーツの広がり」では、健康で充実した人生に向け、中学生のいま、健やかな身体を養うことが大切であることを取り上げました（第1号）。</p> <p>●「共に生きる」では、書家の金澤翔子さんの題字や様々な人々の生きる姿を通して、個人の価値の尊重や、自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成に資するようにしました（第2号、第3号）。</p> <p>●「よりよい未来に向けて」では、SDGs（持続可能な開発目標）を取り上げて、環境の保全に寄与する態度や、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように配慮しました（第3号、第4号）。</p>    	<p>口絵1, 2</p> <p>口絵3, 4</p> <p>口絵5, 6</p> <p>口絵7, 8</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1年体育理論①	<p>●運動やスポーツは人びとの健康維持と楽しさの追求から生まれたものであり、健康やかな身体の育成には欠かせないものであることを述べました（第1号）。</p> <p>●運動やスポーツには多様なかわり方や楽しみ方があり、個人の価値を尊重しておこなう自発的な活動であることを示しました（第2号）。</p> <p>●運動やスポーツに関わる様々な職業があることを取り上げました（第2号）。</p> <div data-bbox="730 286 1251 734"> <p>資料②   職業としてのスポーツへのかかわり方</p>  <p>このほかにも、スポーツトレーナー、スポーツフォトグラファー、スポーツ誌編集者、スポーツ栄養士、スポーツ用品メーカーで働く人、JリーグやBリーグで働く人など、さまざまな職業や働き方がある。</p> </div>	<p>p.6-7</p> <p>p.6-11</p> <p>p.9</p>
1年保健①	●健康やかな身体を養うために、運動、食事、休養・睡眠が大切であることを理解できるようにしました（第1号）。	p.20-25
1年保健②	<p>●健康やかな身体を養うために中学生期が重要な意味を持つことを述べました（第1号）。</p> <p>●男女が互いに尊重し、高めあえる対等な人間関係をつくるのが大切であることを述べました（第3号）。</p> <p>●思い詰めたときには助けを求めることができることを伝えとともに、信頼できる相談機関をあげました（第2号、第4号）。</p> <div data-bbox="874 900 1251 1227"> <p>相談できるところ</p> <p>◆スクールカウンセラー あなたの学校で相談できます。</p> <p>◆24時間子供SOSダイヤル いじめなどに関する相談の電話を、24時間受けつけています。 電話：0120-0-78310</p> <p>◆チャイルドライン 18歳までの子どもがかけるとも専用</p> </div>	<p>p.30-31</p> <p>p.38-39</p> <p>p.54-55</p>
2年体育理論②	<p>●健康やかな身体を養うことの大切さと、その具体的な行い方について述べました（第1号）。</p> <p>●運動やスポーツが豊かな情操と道徳心を培うよい機会となることや、運動やスポーツの中でよい人間関係を築くには自他の協力が不可欠であることについて述べました（第1号、第3号）。</p> <div data-bbox="826 1294 1251 1662"> <p>資料④   連携プレイでのコミュニケーション</p>  <p>プレイ中には声やアイコンタクト（目と目の合図）で自分の意思を伝える。</p> </div>	<p>p.60, p.62-63</p> <p>p.61</p>
2年保健③	<p>●健康やかな身体を養うためには、健康的な生活習慣が重要であることを示しました（第1号）。</p> <p>●喫煙・飲酒・薬物の誘惑を客観的に分析したり、断るスキルを学んだりすることのできる課題を設けました（第1号）。</p> <div data-bbox="689 1729 1264 2065"> <p>資料①   対処のしかたの例</p> <p>飲まない、吸わない、やらない とはっきり「断り」を伝える。 部活動があるから 家族と約束しているから いろいろな人に迷惑がかかるから などの「理由」をいう。 部活動で禁止されているから と「断り」をいう。</p> <p>② それぞれの要因に適切に対処する</p> <p>心理的要因 絶対に手を出さないという強い意思が大切です。また、自分だけはいじょうぶだと安易に考えず、正しい知識をもち、誤った情報に惑わされないようにすることです。ストレスを感じたり、なぜかやる気持ちはなったりしうなどのために、ストレスへの対処法や、自分の心の状態を把握する方法などを身につけておくことも有効です。</p> <p>人間関係や社会的要因への対処 喫煙・飲酒・薬物乱用にかかわる情報、誘われそうな場所や場面などを見きわめ、近づかないようにする判断力が必要です。また、誘われたときにはっきり断る気持ちとともに、断り方など対処のしかたを身につけておくことも有効です。何より、自分の健康や、将来の夢や目標のためにも、自分自身を大切にすることを忘れないことです。</p> <p>図P.50 ストレスへの対処のしかた</p> </div>	<p>p.78-79</p> <p>p.84-92</p>



図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
2年保健④	<p>●AEDの意義や、自ら積極的に人命救助にあたることの意味を述べた当事者の言葉を掲載しました（第3号、第4号）。</p> <p>●心肺蘇生法の意義を理解し、その技能を身に付けられるようにしました（第3号、第4号）。</p>  <p>②衣服を取り除き、AEDの指示する位置に電極パッドを貼る。</p>	<p>p.110-111</p> <p>p.110, p.112-113</p>
3年保健⑤	<p>●スポーツという世界共通の文化を、我が国も積極的に推進していることを取り上げました（第5号）。</p> <p>●スポーツが世界平和に寄与していることについて述べました（第5号）。</p> <p>●我が国がアジアで初めてオリンピック・パラリンピックを開催したことを紹介しました（第5号）。</p> <p>●現在では、スポーツの機会が男女平等に保障されていることを取り上げました（第3号）。</p> 	<p>p.123</p> <p>p.124-125</p> <p>p.126</p> <p>p.126</p>
3年保健⑤	<p>●保健機関の仕事や医療機関の役割の具体例を取り上げ、健康と関連して理解できるようにしました（第2号）。</p> <p>●がんの免疫療法で世界的な業績を上げた本庶佑氏を取り上げました（第5号）。</p>  <p>ノーベル賞を受賞した本庶佑さん（2018年）</p>	<p>p.144-147</p> <p>p.151</p>
3年保健⑥	<p>●空気や水、ごみなどの衛生的な管理が健康のために大切であることを理解できるようにしました（第4号）。</p> <p>●環境の保全のために私たちにできることがあることを、項目を立てて取り上げるとともに、地球温暖化の健康への影響がわかるようにしました（第4号）。</p> <p>② 環境問題は私たちの生活と密接につながっている</p> <p>石油や水などは地球上の貴重な資源・エネルギー源です。それらを大量に使い、大量のごみなどを排出しながら、便利さや快適さを追い求めている私たちの生活が、地球環境に大きな負担をかけることにつながっています。</p> <p>そのため、私たち自身で節電や節水、省エネルギー、ごみの削減や分別をすることが重要です。資料④ たえば、買い物時にバッグを持っていけばポリ袋は不要となり、過剰な包装を断ればごみの減量につながります。分別が確実ならば、空きびんの再利用ができたり、空き缶の再生利用ができたりします（3R）。つまり、私たちにできる行動をとることで、廃棄物を減らし資源を循環させながら利用していく、持続可能な循環型社会の実現をめざすことができ、健康的な環境を保つことになるのです。</p> 	<p>p.162-167</p> <p>p.170-171, p.172</p>

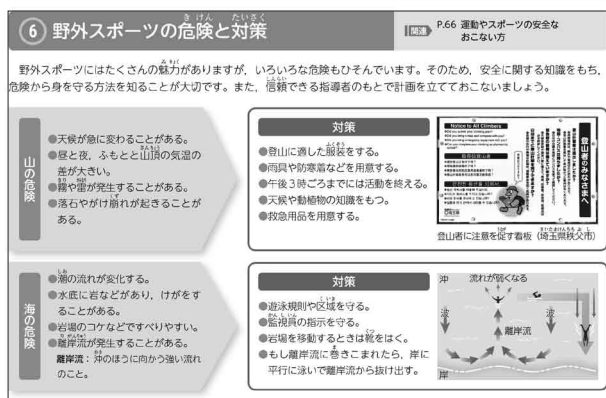
# 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

●「運動やスポーツの体と心への効果」の項目で、適切に運動やスポーツを実践すれば「自立及び共同の精神、規範的意識」（学校教育法第21条一）を養うことができることにについて述べました（p.61）。

●「喫煙と健康」「飲酒と健康」「薬物乱用と健康」「交通事故の防止」の項目で、「規範意識」（学校教育法第21条一）を養えるように配慮しました（p.84-89, p. 102-103）。



●特集資料「野外スポーツの危険と対策」において、自然体験活動にはさまざまな魅力や危険があることを伝えるとともに、安全に活動するための具体的な対策を示し、「生命及び自然を尊重する精神」（学校教育法第21条二）を養えるように配慮しました（p.71）。



●口絵「よりよい未来に向けて」、項目「私たちの生活と環境問題」は、「環境の保全に寄与する態度」（学校教育法第21条二）を養うことに主眼を置いて内容を構成しました（口絵7-8, p.170-171）。

●「国際社会の平和と発展に寄与する態度」（学校教育法第21条三）を養えるようにするため、口絵「オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目!」、扉「文化としてのスポーツ」、項目「国際的なスポーツ大会の意義と役割」、クローズアップ「オリンピック・パラリンピックを学ぼう」において、国際的なスポーツ大会が果たす役割に言及し、国際親善・交流、世界平和の重要性を示しました（口絵1-2, p.120-121, p.124-125, 126-127）。

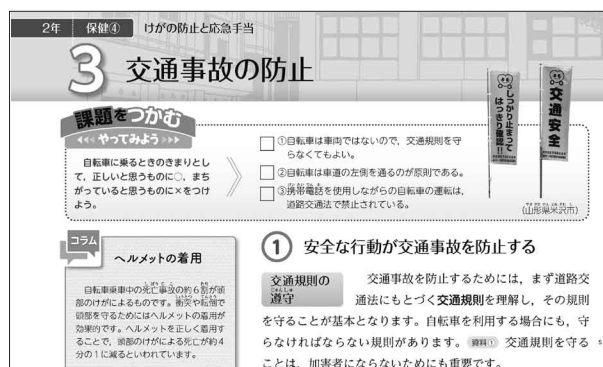
●学校教育法第21条八は保健体育科が中心となって担うべき

であることをふまえ、体育理論では体育実技やスポーツ活動を通して、体力を養うのに役立つ内容とすることに、また保健分野では健康・安全のために必要な習慣を形成するために役立つ内容とすることに意を用いました。

●「[クローズアップ]体力を高めよう」においては、「運動を通じて体力を養い、心身の調和的発達」（学校教育法第21条八）を図る方法を具体的に示しました（p.62-63）。



●学校教育法第21条八に関連して、「けがの原因と防止」「交通事故の防止」「[クローズアップ]犯罪被害から身を守ろう」「[特集資料]①地震災害から命を守る行動②自然災害から命を守る行動」の各項目において、危険予測・危険回避の能力について述べ、「安全で幸福な生活のために必要な習慣」（学校教育法第21条八）が身につくよう配慮しました（p.98-99, p.102-103, p.104-105, p.116-117）。






# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)







※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-106	中学校	保健体育	保健体育	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	保体703	最新 中学校保健体育		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### ① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために

<b>1 学習課題の明確化</b> ●本時の学習課題を「きょうの学習」に示し、その時間で学ぶべき内容を明確にしました。	各項目の  <b>きょうの学習</b>
<b>2 重要点の明確化</b> ●学習を進めるにあたってポイントとなる <b>重要語句</b> を「キーワード」にまとめました。文章中では太字で示しています。 ●学習の要点や重要概念を <b>見出し</b> に掲げました。	各項目の  <b>キーワード</b> 教科書全体
<b>3 正確な記述</b> ●文章は、中学生が読んで理解し納得できるよう、 <b>論理性</b> や <b>具体性</b> を重視しました。 ●本文の内容を裏付けたり、理解を助けたりする「資料」を豊富に用意しました。 ●資料の中の読み取ってほしい <b>大事なポイント</b> を、「よみ取る」として示しました。	教科書全体 教科書全体 p.18, p.21, p.33, p.38-39など随所  <b>よみ取る</b>
<b>4 わかりやすい実習資料</b> ●実際に <b>体を動かして身に付ける</b> 内容を、「実習」として新設し、写真とイラストでわかりやすく解説しました。	p.52-53, p.112-113, p.114-115

### ② 思考力, 判断力, 表現力を育成するために

<b>5 導入発問</b> ●各項目の冒頭に、生徒の関心や学習意欲を引き出し、 <b>気づきや思考を促す</b> 導入発問「課題をつかむ」を設けました。	各項目の  <b>課題をつかむ</b> <<< やってみよう >>>
<b>6 学習のまとめ（項末問題）</b> ●各項目の最後には、本時の学習内容を確認したり、 <b>自ら考え・判断し・表現する力</b> を身に付けたりできるよう、項末課題「学習のまとめ」を設けました。	各項目の  <b>学習のまとめ</b> ...確認しよう...
<b>7 実生活に生きて働く知識の獲得</b> ●学んだ知識が <b>実生活に生きて働く</b> よう、生活に関連した情報を提供する読みもの「コラム」「事例」を豊富に用意しました。 ●学習した知識を実生活に生かして考える課題「体育の窓」「保健の窓」を設けました。	各項目の  <b>コラム</b>  <b>事例</b>  <b>保健の窓</b>  <b>体育の窓</b>







<b>8 保健体育の学習方法</b> ●学習指導要領に示された指導方法の工夫（内容の取扱い（11））をふまえ、 <b>ディスカッション、ブレインストーミング、実習、課題学習と、コンピュータの活用</b> などについて説明するページを設けました。	p.2-3
---	-------



### ③ 学びに向かう力，人間性を育成するために

<b>9 小・中・高の系統性</b> ●各章のはじめには「章とびら」を設け、学習内容と実生活との関連を示すとともに、 <b>小・中・高の系統性</b> を示しました。	章とびらすべて
<b>10 学習の振り返り</b> ●各章の最後には「章のまとめ」のページを設け、 <b>知識・技能の確認、思考力・判断力・表現力の育成、生活への応用、学習の振り返り</b> ができるようにしました。	章のまとめすべて <b>章のまとめ</b>
<b>11 中学生の興味・関心に対応</b> ●中学生に興味・関心のある運動・スポーツに関する話題や、中学生に関わる健康課題を積極的に取り上げました。	教科書全体

### ④ 主体的・対話的で深い学びのために

<b>12 学習の流れ，学び方</b> ●見通しをもって学習できるように、 <b>学習の流れや学び方</b> を説明するページを設けました。	口絵9-p.3
<b>13 学びを深める課題</b> ●グループで話し合ったり、発表し合ったりして <b>学びを深める課題</b> を随所に設けました。 <b>言語活動</b> の充実にもつながる内容となっています。	教科書全体
<b>14 学習の広がりや深まり</b> ●学習したことを <b>広げたり、深めたり</b> できるように、[クローズアップ] や [特集資料] を設けました。 ●本文の内容をさらに詳しく知ることができるように、欄外に「ほり下げる」を設けました。	p.12-13, p.54-55, p.62-63, p.68-71 など   
<b>15 インターネットの活用</b> ●本文に関連する情報を <b>インターネット</b> で調べられるように「web 保体情報館」を設けました。	教科書全体 


### ⑤ 教科横断的な学習や，保健分野と体育分野の一層の関連のために

<b>16 他教科との関連</b> ●関連する内容が他教科にある場合は、「他教科マーク」をつけて示しました。	教科書全体 
<b>17 教科内の関連</b> ●関連する内容が他のページにある場合は、「関連マーク」をつけて示しました。	教科書全体 
<b>18 体育理論と保健の関連</b> ●口絵で保健分野と体育分野の両方に関連する内容を扱いました。	口絵5-8

## ⑥ 中学生を取り巻く今日的な課題に対応するために

<b>19 運動する子としない子の二極化</b> ●運動やスポーツには多様なかわり方や楽しみ方があることを述べ、自分の興味や関心、能力に応じて運動やスポーツを楽しめることを示しました。 ●日常生活の中には、運動やスポーツの運動量に匹敵する活動が多数あることを示す資料を用意しました。	p.8-9, p.10-11  p.20-21
<b>20 防災教育</b> ●自然災害から命を守るための行動の仕方や情報の活用方法を充実させました。  ●地域の防災訓練に積極的に参加したり、災害に見舞われた人たちを訪問したりしている中学生の様子を紹介しました。	p.106-107, p.116-117, p.168-169 p.29, p.96
<b>21 心の健康</b> ●思春期の心の発達と欲求やストレスへの適切な対処について全 14 ページで扱いました。 ●別途リラクセーションの方法を実習するページを設けました。	p.40-51, p.54-55 p.52-53
<b>22 犯罪被害の防止</b> ●犯罪が起こる状況を解説し、被害防止のために自分自身でできる対策、社会全体で取り組む対策を述べました。 ●ネットワークを利用した犯罪に言及し、犯罪に巻きこまれた事例や防止対策の具体的な方法を紹介しました。	p.104-105  p.39, p.105
<b>23 携帯電話やスマートフォンの使用と健康問題</b> ●携帯電話やスマートフォンの使用と睡眠・疲労などの健康問題を取り上げ、正しく使用するための知識を提供しました。	p.24, p.92, p.161
<b>24 がん教育</b> ●がんが日本人の死亡原因の第 1 位であることを鑑み、「がんとその予防」の項目を新設しました。 ●がんは生活習慣とかかわりの深い疾病であると共に、早期の発見や治療によって、命を救い回復できる病気であることを示しました。	p.80-81 p.82-83, p.93
<b>25 情報の活用と情報リテラシー</b> ●運動やスポーツ・健康に関連するさまざまな情報の存在とその活用方法について述べました。	p.11, p.55, p.107, p.117, p.145, p.158-159, p.169
<b>26 環境問題</b> ●口絵や章とびら、環境の項目で、環境を守るための取り組みを紹介し、環境問題への意識が高まるように配慮しました。	口絵7-8, p.2-3, p.154-155, p.170-171, p.172

## ⑦ 見やすく、使いやすい教科書にするために

<b>27 内容の配列と分量</b> ●学習指導要領に示された学年配当に従って、学年別に構成しました。 ●各項目見開き 2 ページで 1 単位時間に対応させ、学習指導要領に示された配当時間での指導が可能となる構成にしました。	
<b>28 資料</b> ●読むべき本文と資料を明確に区別して、紙面を構成しました。 ●資料は、目盛や罫線を見やすくし、カラーユニバーサルデザインに配慮しました。	教科書全体 教科書全体
<b>29 特別支援教育への配慮</b> ●見やすさ、読みやすさを高めるために、ユニバーサルデザインフォントを使用しました。 ●専門家に編集協力を依頼し、特別支援教育に配慮した紙面にしました。 ●教科書に代えて使用できる拡大教科書を発行します。	教科書全体  



## 2 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数	
1 年	<b>体育理論①</b> 運動やスポーツの多様性	〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 H 体育理論, 内容の取扱い(1) ア、イ、(2) ク		p.4-15	3	
	1 運動やスポーツの必要性和楽しさ 2 運動やスポーツへのかかわり方 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	(1) ア(ア)、イ、ウ (1) ア(イ)、イ、ウ (1) ア(ウ)、イ、ウ		p.6-7 p.8-9 p.10-11		
	* 体育理論①では、特集資料で「ゆるスポーツ」や「超人スポーツ」を扱うことで、運動やスポーツの楽しみ方が多様であることを実感できるようにしました。					
	<b>保健①</b> 調和のとれた生活	〔保健分野〕2 内容(1) ア(ア)-(イ)、イ、 3 内容の取扱い(1)-(3)、(11)		p.16-27	4	
	1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食事と健康 4 休養・睡眠と健康	内容(1) ア(ア)、イ 内容(1) ア(イ)、イ 内容(1) ア(イ)、イ、内容の取扱い(3) 内容(1) ア(イ)、イ、内容の取扱い(3)		p.18-19 p.20-21 p.22-23 p.24-25		
* 保健①では、第3学年での取扱いから第1学年での取扱いに変更になったことをふまえて、内容を整理し、学習しやすくしました。						
2 年	<b>保健②</b> 心身の発達と心の健康	〔保健分野〕2 内容(2)、3 内容の取扱い (1)、(6)-(8)、(11)		p.28-57	12	
	1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 3 生殖にかかわる働きの成熟(1) 4 生殖にかかわる働きの成熟(2) 5 性への関心と行動 6 知的機能・情意機能の発達 7 社会性の発達と自立 8 自己形成 9 欲求とその充足 10 心と体のかかわりとストレス 11 ストレスへの対処のしかた 12 実習 リラクゼーションの方法	内容(2) ア(ア)、イ 内容(2) ア(ア)、イ、内容の取扱い(6) 内容(2) ア(イ)、イ、内容の取扱い(7) 内容(2) ア(イ)、イ、内容の取扱い(7) 内容(2) ア(イ)、イ、内容の取扱い(7) 内容(2) ア(ウ)、イ 内容(2) ア(ウ)、イ 内容(2) ア(ウ)、イ 内容(2) ア(エ)、イ 内容(2) ア(エ)、イ 内容(2) ア(エ)、イ、内容の取扱い(8) 内容(2) ア(エ)、イ、内容の取扱い(8)		p.30-31 p.32-33 p.34-35 p.36-37 p.38-39 p.40-41 p.42-43 p.44-45 p.46-47 p.48-49 p.50-51 p.52-53		
	* 保健②では、ストレスへの対処として実習で体ほぐしの運動を取り上げ、体育分野と密接な関連を持たせて指導できるように配慮しました。					
	2 年	<b>体育理論②</b> 運動やスポーツの効果・学び方・安全	〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 H 体育理論, 内容の取扱い(1) ア、イ、(2) ク		p.58-73	3
		1 運動やスポーツの体と心への効果 2 運動やスポーツの学び方 3 運動やスポーツの安全なおこない方	(2) ア(ア)、イ、ウ (2) ア(イ)、イ、ウ (2) ア(ウ)、イ、ウ		p.60-61 p.64-65 p.66-67	
* 体育理論②では、体力の高め方について取り上げ、体づくり運動と関連付けて指導できるように配慮しました。						
<b>保健③</b> 生活習慣の健康への影響		〔保健分野〕2 内容(1) ア(ウ)-(エ)、イ、 3 内容の取扱い(1)-(4)、(11)		p.74-95	8	
1 生活習慣病 2 生活習慣病の予防 3 がんとその予防 4 生活習慣病・がんの早期発見とその回復		内容(1) ア(ウ)、イ 内容(1) ア(ウ)、イ、内容の取扱い(3) 内容(1) ア(ウ)、イ、内容の取扱い(3) 内容(1) ア(ウ)、イ、内容の取扱い(2)-(3)		p.76-77 p.78-79 p.80-81 p.82-83		

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数		
2 年	5 喫煙と健康 6 飲酒と健康 7 薬物乱用と健康 8 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処	内容(1)ア(エ), イ, 内容の取扱い(4) 内容(1)ア(エ), イ, 内容の取扱い(4) 内容(1)ア(エ), イ, 内容の取扱い(4) 内容(1)ア(エ), イ, 内容の取扱い(4)	p.84-85 p.86-87 p.88-89 p.90-91	8		
	*保健③では, 生活習慣病とがんに関わる内容を充実させました。特集資料でもがんに関わる内容を充実させました。					
	保健④ けがの防止と応急手当	〔保健分野〕2 内容(3), 3 内容の取扱い(1),(9),(11)	p.96-119			
	1 けがの原因と防止 2 交通事故の実態と原因 3 交通事故の防止 [クローズアップ] 犯罪被害から身を守ろう 4 自然災害によるけがの防止 5 応急手当の意義と基本 6 心肺蘇生法の流れ 7 実習 心肺蘇生法 8 実習 止血法, 包帯法, 固定法	内容(3)ア(ア), イ 内容(3)ア(イ), イ 内容(3)ア(イ), イ 内容(3)ア(ウ), イ 内容(3)ア(エ), イ 内容(3)ア(エ), イ 内容(3)ア(エ), イ 内容(3)ア(エ), イ, 内容の取扱い(9)	p.98-99 p.100-101 p.102-105 p.106-107 p.108-109 p.110-111 p.112-113 p.114-115			
	*保健④では, 実習を通して心肺蘇生法などができるようになるために, 技能ポイントを示して内容を整理し, 学習しやすくしました。					
	体育理論③ 文化としてのスポーツ	〔体育分野 第3学年〕2 内容 H 体育理論, 内容の取扱い(1)ア, イ, (2)ク	p.120-131		3	
	1 現代生活におけるスポーツの意義 2 国際的なスポーツ大会の意義と役割 3 人びとを結ぶスポーツ	(1)ア(ア), イ, ウ (1)ア(イ), イ, ウ (1)ア(ウ), イ, ウ	p.122-123 p.124-125 p.128-129			
	*体育理論③では, 特集資料でオリンピック・パラリンピック競技大会を取り上げ, 2020 年大会が我が国で開催されることの意義が実感できるようにしました。					
	保健⑤ 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み	〔保健分野〕2 内容(1)ア(オ)-(カ), イ, 3 内容の取扱い(1)-(2),(5),(11)	p.132-153			8
	1 感染症と病原体 2 感染症と体の抵抗力 3 感染症の予防 4 性感染症とその予防 5 エイズとその予防 6 保健機関とその利用 7 医療機関とその利用 8 医薬品の正しい使い方	内容(1)ア(オ), イ 内容(1)ア(オ), イ 内容(1)ア(オ), イ, 内容の取扱い(2) 内容(1)ア(オ), イ, 内容の取扱い(2),(5) 内容(1)ア(オ), イ, 内容の取扱い(2),(5) 内容(1)ア(カ), イ 内容(1)ア(カ), イ 内容(1)ア(カ), イ	p.134-135 p.136-137 p.138-139 p.140-141 p.142-143 p.144-145 p.146-147 p.148-149			
*保健⑤では, 「学習のまとめ」を充実させ, 自己の思考を広げ深め, 深い学びを促すように配慮しました。						
保健⑥ 環境の健康への影響	〔保健分野〕2 内容(4), 3 内容の取扱い(1),(10)-(11)	p.154-175	8			
1 環境の変化への体の適応 2 気象情報の適切な利用 3 快適で能率のよい環境 4 室内の空気の汚染と換気 5 衛生的な飲料水の供給 6 し尿とごみの処理 7 災害と環境 8 私たちの生活と環境問題	内容(4)ア(ア), イ 内容(4)ア(ア), イ 内容(4)ア(ア), イ 内容(4)ア(イ), イ 内容(4)ア(イ), イ 内容(4)ア(ウ), イ 内容(4)ア(ウ), イ 内容(4)ア(ウ), イ, 内容の取扱い(10)	p.156-157 p.158-159 p.160-161 p.162-163 p.164-165 p.166-167 p.168-169 p.170-171				
*保健⑥では, 「気象情報の適切な利用」を新設し, 健康と環境に関わる情報が活用できるように配慮しました。また, 「災害と環境」を新設し, 防災に関わる内容を充実させました。						
				計 57		

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-106	中学校	保健体育	保健体育	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	保体703	最新 中学校保健体育		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
24	スマホ首と疲労	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (イ)健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。	0.25
40	「脳の発達＝神経回路が複雑になる」だけではない	2	〔保健分野〕 2内容 (2) ア (ウ)知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。	0.25
48	自律神経の働き	2	〔保健分野〕 2内容 (2) ア (エ)精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。	0.25
68	運動と脳	2	〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 H体育理論 (2) ア (ア)運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的效果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。	0.5
71	女性のスポーツ選手がおちいりやすい3つの健康問題	2	〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 H体育理論 (2) ア (ウ)運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があること。	0.25
82-83	資料①～④	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (ウ)生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	1
92	見直そう！スマホの習慣	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (ウ)生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	0.5
93	がんの3つの治療法	1	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (ウ)生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	0.5



ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
105	ネットワーク利用犯罪の危険	2	〔保健分野〕 2内容 (3) ア (イ)交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。	0.75
117	気象災害から命を守る行動	2	〔保健分野〕 2内容 (3) ア (ウ)自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	1
137	生活習慣の抵抗力への影響	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (オ)感染症は、病原体が主要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	0.25
141	ふたたび増加している性感染症「梅毒」	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (オ)感染症は、病原体が主要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	0.5
150	人類と感染症の終わりのなき闘い	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (オ)感染症は、病原体が主要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	1
151	免疫とがん治療	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (オ)感染症は、病原体が主要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	0.5
151	免疫と食物アレルギー	2	〔保健分野〕 2内容 (1) ア (オ)感染症は、病原体が主要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	0.5
172	地球温暖化・ヒートアイランドと健康	2	〔保健分野〕 2内容 (4) ア (ア)身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。	0.5
172	熱中症の応急手当	2	〔保健分野〕 2内容 (4) ア (ア)身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。	1
173	放射線と健康	2	〔保健分野〕 2内容 (4) ア (イ)飲料水や空気は、健康と密接な関わりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があること。	0.5

合計 10 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容